

# 10月19日(土)開会式典

いよいよ～参加者590人を迎え、第54回全国ろうあ女性集会をスタート。  
主催をはじめ、来賓の方々よりご挨拶を頂きました。



第54回全国ろうあ女性集会実行委員長  
中務 加代子 氏



一般財団法人全日本ろうあ連盟女性部長  
佐々木 柄理子 氏



一般財団法人 全日本ろうあ連盟 副理事長  
一般社団法人 滋賀県ろうあ協会 副会長  
中西 久美子 氏



公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会会長  
東 久示 氏



岡山県子ども・福祉部長  
片山 圭子 氏



倉敷市長  
伊東 香織 氏



開会式典の様子



助言者・座長紹介

## 第54回全国ろうあ女性集会 in 岡山

2024年10月18日(金)～20日(日) 岡山県倉敷市芸文館  
主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟女性部 主管：公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会女性部



2024年10月発行



## 第1分科会 「家庭と教育」 … 51名

テーマ「聞こえない聞こえにくい子どもを守るためには？」



助言者：山根 昭治 氏 (全日本ろうあ連盟 本部事務所長)  
座 長：豊島 清美 (常任委員)・日数谷 優子 (全国委員)



山根さんのミニ講演で、ろう歴史・お茶の間の孤独とディナーテーブル症候群の現状についてお話をいただきました。

また最近のろう教育の現状で、子どもたち側の課題や学校・教員側の課題に聞こえる、聞こえないこどもに対するプロセスが重要であることを実感させられました。

グループ討論では、8つグループに分けてテーマに沿って協議しました。それぞれのグループの意見など、お互いに情報交換ができました。

今日の分科会で有意義な内容を学ぶことができました。

参加者にインタビュー

涙ぐみました。  
つらい過去が思いました。

三重県/まりパン

昔と今の現状に差があり、  
子供の環境について考えて  
いかなければならないことを  
深く思いました。

茨城県/渡部

助言者の山根昭治氏の  
ミニ講演を伺って、  
『聞こえない、聞こえにくい  
子供を守るためには？』  
いろいろ考えさせられました。

埼玉県/K.F

## 第2分科会 「くらし」… 136名

テーマ「防災・減災について」



助言者：高塚 稔 氏 (ろう防災士)  
座 長：加藤 佳子 (常任委員)・中西 佳子 (全国委員)



防災、減災について共に生きる為の備えと工夫についての内容でした。  
後は災害に関するクイズもあって盛り上がりました。  
その後10グループに分かれて討論を行いました。

テーマは3つ

- 1、災害時のコミュニケーション手段
- 2、避難所での課題
- 3、備品や日常の備え

グループで話し合った事

- ・地元の避難訓練に参加する
- ・ライトが必要 (暗いと手話が見えない)
- ・薬が必要
- ・ランタンが必要だが、ペットボトルで代用ができる (ペットボトルに水を入れて、スマホのライトで照らす)
- ・近所付き合いとコミュニケーションが大事

参加者にインタビュー

クイズが良かったです。  
改めて見直すきっかけに  
なり、これを機に正しい  
方法を覚えて、周りの人に  
教えたいと思いました。

高知県/Y

今、いろいろな所で、  
災害が起こりつつ、身の  
回り、助け合いの必要さを  
実感しており、みんなで  
情報交換・防災を学びたい  
と思います。

茨城県/S.M

第2分科会の防災に  
ついてのミニ講演会が  
クイズ形式で大変面白く  
ためになりました。

広島県/岩本博美

## 第3分科会 「豊かな老後」…165名

### テーマ「幸せに暮らすためには？」



助言者：本村 順子 氏 (長崎県ろうあ協会参与)  
座 長：時松 美由紀 (常任委員)・高橋 雪江 (全国委員)



- ・午前中は「幸せに暮らすためとは？」をテーマにミニ講演
  - ・午後からは、講演の内容を基にして、2つのテーマに沿って、参加者からの活発な意見や体験談
  - ・みんなで考えてみよう①「豊かさって何？」
  - ・寸劇を行った  
→大金持ちでお金とモノに不自由な人とお金のない人のやりとり  
心の豊かさが大切
  - ・みんなで考えてみよう②「孤独な老後… (孤独死)」
  - ・寸劇を行った  
→友だちに会おうとLINEするが、返信がこない、直接会いに行くと死んでいる…
  - ・高齢者は、引きこもりが増えている
  - ・ろう者は、死亡の発見が遅れる  
防ぐためにはどうすればいい？を参加者の中に経験した方の意見を聞く
- 【まとめ】  
お金やモノではなく、心の豊かさが大切  
人と人とのつながりが大切

#### 参加者にインタビュー

60歳からとのことで  
まだ先の事だから深く考えては  
いませんでした。  
孤独はよくない、友達を大切に  
すると困った時に助けてもらえる  
と分かりました。

愛知県/早川正美

自分はろう者の介護の仕事をして  
いるが、皆ケンカばかり  
している。  
今日の講演を聞いて、  
「死ぬまで仲良くやっていこう」  
と伝えたいと思った。

福岡県/A.I

自分たちの経験と通じる  
講演だった。  
想像していた内容とは全然  
違ったが、大変参考になった。

山口県/W

## 第4分科会 「女性活動」…62名

### テーマ「LGBTって？」



助言者：山本 芙由美 氏 (Deaf LGBTQ Center代表)  
座 長：平井 壽子 (常任委員)・山本 和子 (全国委員)



- LGBTQに関する手話
- 日常生活で普通に飛び交っている言葉の色分け「マイクロアグレッション」  
赤：誰か傷つくかもしれない赤信号  
黄：ちょっと考えた方がいいかも…黄色信号  
青：大丈夫！安全だ！の青信号  
例)「男のくせにそんなことで泣くなよ!」「あの子かっこいいよね!」
- グループワーク (10) …各グループで発表
- アウトティングについて…
  - ・当事者の命取りになるので、注意が必要
  - ・ろう者の世界は狭い。当事者の許可を得ずに、勝手に第三者に言うてはいけない。アウトティングされたことで、ろう者の集まりに参加できず、ひきこもり、精神的に追いこまれ、自死を選んてしまうケースもある。
- カミングアウトを受ける時の7か条
  - ①最後まで話しを聞く
  - ②セクシャリティを決めつけない
  - ③「話してくれてありがとう」を伝える
  - ④「どうして伝えてくれたのか」「何に困っているのか？」を聞く
  - ⑤「誰かに話しているか?」「誰に話してもいいか」を確認する
  - ⑥つながるための情報を伝える。つながる。
  - ⑦疑問や気持ちを素直に伝える。

#### 参加者にインタビュー

今ではLGBTQがやっと世間にも  
認知度が上がって来たと思う。  
LGBTQとろう運動は似ている所も  
多く、自分事化して共に生きる道を見  
つけたいと思う

広島県/A.K

素晴らしい大会です。  
おめでとうございます。  
来てよかった。

山口県/K.Y

LGBTQ+の講演は  
すごく素晴らしかったし  
わかりやすい内容で  
話を聞いてよかった〜

茨城県/M・T

# 第5分科会 「労働」 … 47名

## テーマ「いきいきと働くためには」



助言者:大竹 浩司 氏(全日本ろうあ連盟 理事)  
座 長:辻 恵子(常任委員)・山口 恵美(全国委員)



- 午前:助言者からの講演  
午後:4つのグループに分かれ、3つのテーマについて話し合う
- ①-1 現状の問題
    - ・聴者に比べてろう者が得られる情報が少ない
    - ・ハローワーク職員(手話協力員)が、障害者雇用や、制度についてもっと勉強して、ろう者に対応する
  - ①-2 今後の課題
    - ・手話通訳やUDトーク(音声認識アプリ)を使用した情報保障をしてもらえ
    - ・ハローワーク職員(手話協力員)が、障害者雇用や、制度についてもっと勉強して、ろう者に対応する
  - ②これからの自分が求める働き方は?
    - ・手話でコミュニケーションを取りたい
    - ・聴者と同じ量の情報を得たい(情報保障がある環境で働きたい)
    - ・職場の人に聴覚障害について理解してもらいたい
  - ③いきいきと働くために、自分に必要なことは?
    - ・笑顔で職場の人に挨拶をすること
    - ・ワークライフバランスを保ち、健康でいること。
    - ・ろう者・聴者を問わない仲間(共通の趣味等)を作ること
    - ・災害時に備えてUDトーク等を使用できる職場
    - ・これまでの経験を後輩に伝えていくこと
  - ④まとめ①～③について話し合った中で、大切なことは?(助言者:大竹 氏)
    - ・自身が学び続けること。その先に職場での交渉や提案が成り立つ。
    - ・アクセス(知ること、情報を得ること。一方向)とコミュニケーション(会話、双方向)は別に考える必要がある。
    - 手話を文字に変えるアプリはないので、双方向は難しい。
    - ・新しい法律をきちんと説明していくことが必要。(アクセシビリティ推進法) その為に自分が学ぶ必要。
    - ・他者に説明できる力を自分で磨く。
    - ・通訳者を通して自分が説明する。
    - ・実際にやってみることで自信につなげる。
    - ・障害者雇用促進法は会社に対するものでもある。
    - ・合理的配慮も自分から要望することが必要。 → 会社に対する交渉力を身につけて欲しい。

### 参加者にインタビュー

労働に関する講演会に初めて参加しました。特に印象に残ったのは仕事紹介などでの、手話通訳担当者の、委託助成金制度の準備が大変でなかなか難しい状況だと知った。午後のディスカッションでどうすべきかなど、いろいろ考え方を深めたいと思う。

三重県/K.K

合理的配慮の義務化がなされた時、自分から積極的に会社へ要望しなければならぬのだと、とても勉強になりました。貴重な情報をありがとうございました。

千葉県/野村佳世

労働について質問が大盛りですが、みんなで話し合っ、一つでも解決できたらいいと思っています

静岡県/えいこ

# 大会宣言

本年1月1日、石川県能登半島大地震で大きな被害を受けた石川県能登北部に9月、記録的な大雨被害、河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が相次ぎました。犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々に一日も早く復興できますようお祈り申し上げます。

第54回全国ろうあ女性集会のメインテーマは「おいでんせえ 晴れの国おかやまへ 美しき瀬戸内海から女性のパワーを発信しよう」に、一人ひとりの思いがほのぼのとした気持ちになり、桃太郎ならぬ桃子に家来のようについて行きたくなります。

今年は忘れがたい歴史とは、7月3日、最高裁判にて、優生保護法は違法であると認められ、総理により謝罪を受けた被害者たち。失われたことは戻れないという思いを思えば、もどかしさを感じられぬにはいかないと思います。優生保護法について風化にならないよう語り継ぐことが大切かと思います。

現在、男女共同参画社会の実現と女性の活躍の推進を図る気運が高まり、女性が輝くステージが広がる一方で、さまざまな場で依然として、優生思想や偏見や差別に苦しんでいる人はおり、まさに紙一重です。その根絶に向けた取り組みを求め、声を上げられない被害者の被害回復を進めるための支援とともに、国への働きかけに強めていきます。

連盟として2025年東京デフリンピック開催に向けて、世界中の女性の地位の向上とエンパワーメント(力をつけること)を更に進めることに献身し、私たちが前進するためには、さまざまな障壁を取り除けなければいけません。

女性及び少女の地位向上及びエンパワーメントを促進する手段として、なかでも国際協力を通じて、土地、信用保証、科学技術、職業訓練、情報、通信及び市場を含む経済的資源への平等なアクセスの恩恵を享受する能力を高めることを含め、女性の経済的資源への平等なアクセスを確保しましょう。

この機会を追い風に、互いに尊重しあい、多様性を受け入れ、悲願の手話言語法制定を目指して、新しい未来に繋げていきましょう。

現在、全国各地で制定された手話言語条例は、計543自治体となり、全自治体1794の30%を超えました。

ここ岡山県は、全国で初めて、県内ですべての自治体で条例が制定されました。岡山からのささやかな取組みが、次世代に引き継がれ、そしていつの日か、だれもが笑顔で暮らせる真に多様性を認めあう社会が実現することを強く望み、ここに宣言します。

2024年10月20日  
第54回全国ろうあ女性集会